

市議会だより No.46

平成29年9月1日



議会報告会の様子

1班 勝間地区	2班 小野地区
3班 玉祖地区	4班 向島地区

6月定例議会

議案の概要	P2～P3
一般質問	P4～P9
特別委員会の報告	P10

視察報告	P11
議会日誌	P12
9月定例議会の予定	P12

議会中継がスマートフォンでもみられます!! [防府市議会](#) で検索



平成29年

6月 定例議会

6月定例議会は、6月12日から7月5日までの会期24日間の日程で開催されました。

平成29年度一般会計の補正予算、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部改正など議案12件、推薦1件、選任2件、承認1件、報告14件を審議し、原案のとおり可決しました。

主な議案等と審議経過の概要をお知らせします。

「賛否の分かれた議案に対する議員の態度」は、P3をご覧ください。

条例

■行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部改正

外国人生活保護関係情報、社会福祉法人等による介護保険給付等関係情報及び就学援助に関する事務で新たに個人番号を利用するためのものです。

一般議案

■市道路線の認定、変更及び廃止

開発道路等に関する12路線の認定と各1路線の廃止・変更及び主要地方道防府環状線の整備に伴う2路線の認定と3路線の廃止をするものです。

■人工芝多目的グラウンド整備工事請負契約

スポーツセンター南側運動広場に人工芝を敷設し、サッカーだけでなく、野球やソフトボールなど広く市民が活用できるように整備します。

契約相手 山陽建設工業㈱・中司興業㈱

共同企業体

契約期間 平成30年3月15日まで

契約金額 5億781万5,698円

予算

■平成29年度一般会計補正予算

12億3,577万6千円を増額し、補

正後の予算総額を425億3,018万4千円とする予算案が提出されました。主な事業(補正額)は次のとおりです。

・中山間地域振興事業

新たに立ち上げる「(仮称)一般社団法人富海地域まちづくり協議会」が実施する事業への補助と富海地域での「地域おこし協力隊」の第二次募集(2名)を行います。(77,197千円)

・社会福祉施設整備補助事業

保育所施設の保育室、給食室等の増改築等を補助します。(認定こども園松崎幼稚園、認定こども園松崎幼稚園、西須賀保育所)(39,416千円)

・観光関連団体等連携・助成事業

観光振興及び観光客の誘致を図るため、防府クルーズ船「飛鳥II」の寄港に伴う、入港及び出港セシモノーに関する費用の一部を負担します。(500千円)



飛鳥II

・市有三世代住宅建設事業

富海地区において、三世代住宅2棟を建設します。(54,320千円)

・認定こども園施設整備補助事業

認定こども園施設の保育室、給食室等の増改築、フエンスの整備等を補助します。(認定こども園松崎幼稚園、認定こども園松崎幼稚園)(42,999千円)

・小・中学校等における起業体験推進事業

キャリア教育の一環として、商品の開発、販売や生産活動などの体験を通して、「起業家精神」や「起業家の資質・能力」を有する人材育成を図ります。(野島小・中学校)(950千円)

・小野公民館建替事業

小野公民館を旧小野小学校跡地に建て替えるため、現地測量等を行います。(5,900千円) (賛否No1)

人事

■人権擁護委員候補者の推薦

新任 山田さよさん(桑南二丁目)

■農業委員会委員の選任

- 再任 池田圭介さん(大字久兼)
- 再任 池田静枝さん(沖今宿二丁目)
- 新任 石川眞平さん(大字牟礼)
- 再任 石田卓成さん(大字上右田)
- 再任 井元均さん(大字田島)
- 再任 宇多村史朗さん(大字富海)
- 再任 内田成男さん(大字台道)
- 再任 鹿角清美さん(大字鈴屋)
- 再任 木原伸二さん(華城中央一丁目)
- 新任 熊安悦子さん(八王子一丁目)

- 再任 田村正信さん (大字西浦)
 - 新任 中山博祐さん (大字新田)
 - 新任 原田道昭さん (大字切畑)
 - 再任 藤井伸昌さん (大字佐野)
 - 再任 古谷修造さん (大字植松)
 - 新任 光井憲治さん (大字西浦)
 - 再任 三輪栄一さん (大字台道)
 - 再任 吉本典正さん (大字田島)
- (賛否No.2)

市長行政報告

庁舎の建設については、平成29年1月にパブリックコメントを実施し、新庁舎建設に関するシンポジウムの開催を経て、3月に防府市庁舎建設基本構想・基本計画を策定した。

4月1日からは、市内16地域を回って、策定した基本構想・基本計画について御説明をさせていただいた。現庁舎敷地での基本構想・基本計画(案)も作成すべくこの市議会からの決議についても、各地域で説明している。

駅北公有地エリアと現庁舎敷地を比較検討するための資料については、いずれの計画も詳細で具体的な建替計画になろうと思われ。

各地域で市民の皆様方からいただいた御意見も参考にし、市議会の皆様としっかりお話をさせていただき、次の市議会には、予算措置も含め、具体的な提案を諮りたいと考えている。

報告

■公会堂改修設計業務委託契約

公会堂の耐震改修工事を実施するため改修の実施設計を行います。

契約相手 (株)佐藤総合計画九州事務所
 契約期間 平成29年4月7日〜平成30年2月15日

契約金額 9,306万円



■市出資法人の経営状況報告

土地開発公社、水道センター、文化振興財団、農業公社、地域工芸・地場産業振興センターの5つの出資法人の経営状況報告がありました。

■指定ごみ袋製作業務委託契約

契約相手 山口県農業協
 契約期間 平成29年6月16日〜11月30日
 契約金額 6,375万8064円

焦点 市有三世代住宅 建設事業

予算委員会全体会で集中審議を行いました。審議の概要は次のとおりです。

問 今後、想定している家賃や入居条件等を含めた内容のアンケートを実施し、需要を計るべきと思うが。

答 前回のアンケートで同居・近居をしたいと回答された方に、建設場所や間取り、入居条件等を示し、PRを考えています。

問 前回のアンケートで、三世代同居の希望はどのくらいあったのか。

答 アンケート総数が120件で、同居・近居の希望は65名です。

問 以前の説明では、中学生以下の世帯員がいなくなった場合、その翌月から原則6カ月以内の退去としていたが、見直しの考えはあるのか。

答 定住環境を整備し、安心して住んでいただくことが大事であり、見直しも考えています。

問 この事業は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の富海地域の活性化にも関わってくる。定住環境を整えたいうえて進めるべきではないのか。

答 富海地域の諸事業は、人口減少の克服と地域の活性化を図り、将来に渡り持続的に発展する地域社会を構築するモデル事業と位置づけています。定住環境を整えてからの展開ではなく、関連の事業を一体的に進めるものです。

賛否が分かれた議案に対する議員の態度

○賛成 ×反対

賛否No	平成29年6月定例会	会派・議員名																			賛否の合計		議決結果					
		自由民主党					自由民主党 市政会				自由民主党 清流会			公明党		絆	日本共産党	改革	市民クラブ		無所属の会	賛成		反対				
		石田	上田	曾我	松村	行重	今津	宇多村	清水浩	田中敏	藤村	牛見	河杉	橋本	安村	河村	高砂	山根	三原	山田	清水力				山本	和田	田中健	久保
1	平成29年度一般会計補正予算	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	1	原案可決
2	農業委員会委員の選任について	※1	○	○	—	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※1 22	1	同意

※1 石田、宇多村両議員は一身上に関する事件のため、自身の採決には加わりません。両議員の選任については、それぞれ賛成21です。
 ※賛否が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない議案等は、全会一致で可決しました。
 ※松村議員は議長のため、通常は採決に加わりません。

Q&A

一般質問



6月定例議会では、16名の議員が市政について質問しました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を9月に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館をご覧ください。また、防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

障がい者・働く女性への支援、市のPRについて！

山田 耕治(絆)

問 公共施設のバリアフリー化率を見えるようにすべきでは？

健康福祉部長 他市の事例を参考に前向きに考えたい。

問 障がい者用のトイレマップを作成し、ホームページ等に掲載しては？

健康福祉部長 重要な情報であり、前向きに検討したい。

問 コミュニケーション支援ボードを作成、普及活動をすべきでは？

市長 前向きに検討したい。

問 病児・病後児保育事業で、保育中に体調不良になった幼児の送迎を実施してみても？

健康福祉部長 実施は考えていない。

問 市町村女性活躍推進計画の策定予定は？

健康福祉部長 防府ハロープラン21の関連で策定を予定している。

問 子育てサポーターと

して活躍している祖父母や地域へ「防府市じじいばば応援手帳」を作成しては？

健康福祉部長 手帳の導入を考えていきたい。

問 防府市を知っていたく取組として、幸せますポロシャツの袖等に漢字がローマ字で、「防府市」と入れては？

産業振興部長 今は入っていないので、前向きに考えたい。

問 防府市のPRに幸せますマンホール蓋を作製しては？

上下水道局長 観光PRの一助になる。今後の検討課題としたい。



広島カーブロードのマンホール蓋

大規模事業と財政運営、住宅及び店舗リフォーム助成事業について

曾我 好則(自由民主党)

問 平成29年1月に開催した市庁舎建て替えのシンポジウムで、市長は「鉄道高架事業などへの巨額の投資で、他の事業が遅れて市民に不自由を掛けました。財政も逼迫して大変な状況であった。」と言われたが、何をもちて言われたのか。

市長 駅周辺の大規模事業により、市長就任当時の財政状況に対する非常に強い危機感から発言。

問 就任当時の財政指標は悪くなく、大規模事業時は優先順位、進捗調整、事業縮減や見直しを行うのは当然だが、経済効果等も加味するので、財政状況の良し悪しとは別話。一連の事業で財政が逼迫したというのは市長の認識違いではないか。

市長 同事業に対する先人の努力には感謝。この財産を生かしながら、このまま行政改革等を進め市の発展の源とする。

問 新庁舎建設では、市長の言葉を借りれば再び財政が逼迫するのでは。

市長 今の状況なら駅北に立派な庁舎を建てても財政が急激に悪化することとはみじんもない。

要望 新庁舎建設は市長任期中では実質なくなつたが、この質問が無駄にならないことを望む。

問 住宅リフォーム助成事業は、先着順を改めるか、事業拡大しては。

産業振興部長 8月の2次募集の実施を検証し検討する。

問 店舗リフォーム助成事業では、店舗のみでなく、併用の事務所部分も対象にしたらどうか。

産業振興部長 営利目的であり、店舗部分のみが適切と判断。

要望 同事業は民間市場が敏感に反応してくれるヒット施策なため、もっと積極的に。

エフビズをモデルとしたハウフビズ（防府市の中小企業支援センター）の創設

今津 誠一（自由民主党市政会）

問 地方創生の本丸は中小企業の振興と確信する。富士市の産業支援センターエフビズは、指導した企業の約7割が売上げを伸ばすという括目すべき成果を上げている。

は、県独自の支援拠点に繋げたい。

これをモデルとした〇〇ビズが全国10自治体開設され、エフビズ同様の成果を上げている。その秘訣は、全国公募で飛びつきり優秀なスタッフをとり揃え、相談者に対し、単なる助言ではなく、売上げを伸ばすためのソリューション（具体的な解決策）を提示するからである。エフビズモデルのハウフビズを一日も早く創設し、悩める中小企業者を支援し、防府市経済の再生を図るべき。

意見 それは、当センター単独では十分なコンサルタントができないという点ではないのか。よろず支援拠点は既に利用されているが、県全域の中小企業が対象で、事業者などの悩みに応えきれない事情もある。ワンストップコンサルティングができない支援機関では、成果が期待できない。当センターは元々、山口・防府・美祢地域の工芸・地場産業の振興を図る目的で設立された財団法人である。一日も早いハウフビズの創設を強く求める。

市長 山口・防府地域工芸・地場産業振興センターの中に、その機能を取り込むことは可能と考える。当センター単独でコンサルタントを行うので



観光行政について

藤村 こそえ（自由民主党市政会）

問 防府市は多くの観光資源がありながら、訴求力の弱さから、それらが観光振興に十分生かされていない。今後の観光政策の方向性について伺う。

様々な観光プログラムを集中開催する。現在その担い手まち博プレーヤーを募集し、他県でまち博を成功に導いた指導者を迎えて準備をしている。

市長 次の時代に向け、「第二次防府市観光振興基本計画」を策定し、目指す観光のまち像として「幸せますの観光まちづくり推進都市」を掲げ、重点事業を優先的に推進している。平成29年10月6日に大型クルーズ船「飛鳥II」の三田尻中間港への寄港、10月7日には山頭火ふるさと館が開館。これらを好機として捉え、市の魅力を生かし誘客を行う。

問 維新150年プロジェクトの中の「未来を担う人材育成」と「官公みらい塾」との関わりは。

教育長 平成30年度は明治維新150年と関係深い体験学習を企画し、子ども達にふるさと力をつけたい。

問 今後の観光行政についてのお考えは。

副市長 防府市に行かなければ味わえない観光工リアの開発、おもてなし観光宣言を行い、ワンスラスおもてなしの体制づくり、防府市をPRするシティプロモーションに力を入れていきたい。

問 防府市明治維新150年事業における「ほうふ幸せますまち博」とは。

産業振興部長 市全域を博覧会会場と見立て一定期間にまち歩きイベント、食の体験、和文化的芸術作品とのふれあい、



自転車活用推進、うそ電話詐欺防止、公共交通活用推進について

山根 祐一（公明党）

問 自転車活用推進法が施行され、地方自治体は実情に応じた施策を実施する責務を担うこととなるが、御所見を伺う。

のところ、機器の設置支援制度の導入までは予定していない。

市長 国が定める自転車活用推進計画に配慮し、本市に即した活用を推進していく。

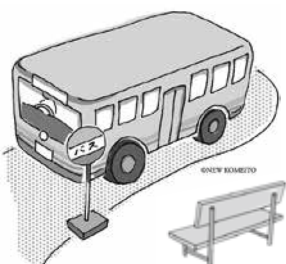
問 福岡市はバス停付近やバス路線沿いの土地所有者に対し、バス停にベンチを設置すれば、ベンチ購入費を半額助成する制度を始めたが、防府市でもできないか。

問 防府市における利用環境の改善はどうか。

総合政策部長 今後、超高齢社会に対応したまちづくりを進めていく上で、参考となる取組の一つであると考えている。

問 うそ電話詐欺の被害者は一人暮らしの高齢者が多いが、他市で行っている被害防止機能付き電話機の設置支援に取り組んではいかがか。

総務部長 消費生活センターでは被害防止対策として、事例報告、注意喚起を繰り返し行っている。質問の電話機の設置は、特殊詐欺に対する有効な防止対策であるが、現在



食品ロス削減の取組を。不妊治療のサポートを。市営納骨堂建設を。

高砂 朋子(公明党)

問 食べられる状態なのに捨てられる「食品ロス」。国内で年間6000万トン。

全国で「食べ物に、もったいないをもつ一度に、市民あけて食品ロス削減運動を開始。県推進の「やまぐち食べきり運動」の①「30・10運動」(宴会開始30分は自席で料理を楽しみ、終了前10分は食事に集中)の周知、②「やまぐち食べきり協力店」の登録推進、③「家庭での取組啓発」に対して、市の取組は。

市長 ①市役所内の取組として「30・10運動」を実施。今後は、広く市民・事業者の皆様実践を呼びかけてまいりたい。②「やまぐち食べきり協力店」は現在市内に10店舗。登録呼びかけを行っている。③また、家庭における具体的な方法や事例を広報してまいりたい。

問 災害時備蓄食料の更新時の対応については。

市長 毎年実施している総合防災訓練などで備蓄食料の啓発として使用。通し、食育の充実を図ることについては。

教育長 平成28年度1日の1人当たりの残食量の割合は、約1%。美味しい給食への工夫を行い、残食ゼロも呼びかけている。



問 晩婚化や初産年齢の高齢化等により、不妊症が増加。経済的な支援に加え、心のケアや大変遅れている男性不妊治療への対応、治療と仕事との両立支援が必要では。

健康福祉部長 県と連携を図り周知・啓発を行う。要望 お墓の承継で悩んでおられる方が増加。安心して永年納骨できる市営納骨堂の建設を。

共生型複合施設及び健康・福祉の拠点整備について

上田 和夫(自由民主党)

問 地域のコミュニティ活動の拠点となる共生型複合施設は、最期までその人らしい人生を送ることができるよう支援し、

生涯安心して暮らせるまちづくり貢献する役割がある。現在、防府市社会福祉事業団が運営している障害者支援施設大平園は、築後37年が経過して老朽化が著しく、

部屋も2、4人部屋で間仕切りもないことから、プライバシーも確保できない。また、土砂災害警戒区域、土石流の特別警戒区域にあることなど、

住環境が著しく損なわれ劣悪な環境状況にある。この大平園を、地元根ざした支え合いを行う共生型複合施設の拠点として整備できないか。

市長 地域共生社会の実現のためには、地域における住民相互のつながりを再構築することが必要であり、福祉事業者には

地域社会の一員として、地域住民とともに、地域づくりに積極的に取り組む責務があるとされ、市町村は、地域の自発性や主体性を損なわないように配慮しながら、地域づくりの取組が持続するように支援するとともに、

地域住民だけでは解決が困難な課題について、専門職や関係機関との協働の下で解決を図る体制を整備する必要がある。そこで、大平園を共生型複合施設の中核として整備することは大変有効と考

えている。現状では快適な住環境とは言えない状況で、土砂災害警戒区域などにあることから早期の改築が望まれるところであり、鋭意検討したい。



大平園

県立農業大学校との連携強化 特定外来生物への対応について

河村 孝(公明党)

問 県立農業大学校(以下「農大」)は、中・四国No.1の規模であり、本市と農大の連携による更なる本市農業の振興が重要である。これまでの実績とこれからの連携は。

市長 うめてらす等での野菜等の販売や4月の「幸せます花回廊」等へ参加のほか、農大研修生と市内指導農家との最適なマッチングに努力している。県外から本市への就農を希望される方を対象に、現地就農体験ができる「おためしプログラムの創設へ向け、農大と検討し、本市への就農を促進する。

問 主な就職先となる市内の集落営農法人がら法人と少なく、農大卒業生は他市へ流出している。中山間地域への定住策としても、集落営農法人への支援が重要ではないか。

市長 市内の集落営農法人の経営は小規模で、農

大卒業生の受入実績はない。既存の法人には、経営規模の拡大を推進、また法人設立の勉強会を開催するなど、きめ細かな取組を行う。奈美地区で新規法人の設立が検討されており、農林事務所やJAとも連携し、しっかりと支援していく。

問 繁殖力が強く特定外来生物に指定のオオキンケイギクが増えている。セアカゴケグモやアルゼンチンアリなどの特定外来生物の実態調査を行ったか。

生活環境部長 オオキンケイギクは確認しているが、調査は行っていない。

問 どのような対応策を考えているか。

生活環境部長 国や県と連携し、発見の情報や相談があった場合は、県に報告している。市としての情報発信は不足しているため、ホームページ等で広報啓発に努める。

高齢者等の外出支援策拡充について

清水 浩司（自由民主党市政会）

問 山口市が取り組んでいる100円バスを防府市にも導入できないか。

市長 山口市は、70歳以上や障害者の方に100円で利用できる「福祉優待バス乗車券」を発行している。



防府市では、高齢者外出支援策として、路線バスとタクシーの運賃助成を行っており、平成29年度から対象者を拡大する等の制度の見直しを行ったところである。

100円バスについては、山口市との都市構造の違いなどを考え、慎重に判断したい。

問 山口市が取り組んで



いる、他市にまたがる100円バスを防府市でも導入してはどうか。

市長 山口市では平成29年10月から、市域を超えて「乗降のいずれかが市内」であれば、1乗車100円で利用できるように制度が拡充された。しかし、この制度は市民ニーズや費用対効果等メリットとデメリットがあり、制度導入は簡単に判断できない。

現在、防府市では「地域公共交通網形成計画」の策定に取り組んでおり、この計画の中で議論したい。

庁舎建設について 文化財郷土資料館の老朽化対策を

山本 久江（日本共産党）

問 現庁舎敷地での新庁舎建設基本構想・基本計画（案）も早急に策定することを求めた全会一致の決議への執行部の対応は、9月定例会市議会に策定予算計上しているか。

市長 行政報告で言った次の市議会とは、9月定例会市議会を指している。

問 今後、市民の声を聞く機会をどのように検討するの。

市長 今後の庁舎建設における市民参画についてどのような対応が望ましいか、検討したい。

問 平成29年4月から、市町村役場機能緊急保全事業という国の財政支援が始まったが、市負担軽減のため活用を図るべきでは。

市長 平成23年度に山口県市長会を通じて本市が要望を始めたもので、積極的に活用したい。

問 検討会で、「私自身は急いでいなう。」と市

長は発言しているが、耐震補強すらできない庁舎について、いつ発生するかもしれない大地震への対応は、相当急がなければならぬのでは。

市長 基金の横立てを行う等急いでいる。

問 駅北計画のダイジェスト版の全戸配布は中止すべきでは。

総務部長 現庁舎敷地の案を今後検討するが、どのようにするか考えたい。

問 築後36年の文化財郷土資料館の今後の対応は。

教育部長 歴史や文化財の学習、研究の場として大変重要な施設であり、その在り方を検討したい。

問 老朽化の緊急対策は。

教育部長 タイル壁の補修や空調設備を含め、同館の室内環境の確保に努めたい。



国民健康保険の都道府県単位化で 保険料はどうなる？

清水 力志（日本共産党）

問 平成30年度から国民健康保険の運営が県に移管されるが、新たな制度は現在の制度と比べて、何がどう変わるのか。

市長 県が国保事業費納付金額を決定し、市町がその金額を納付する。そして県は市町に対して医療保険給付に必要な費用を全額払う。

問 市の国保運営や被保険者への影響は。

市長 運営は従前どおり市が行うので、被保険者にも大きな影響はない。

問 市の国保財政への影響は。

市長 県の運営方針が発表されていないので、具体的な答弁はできない。

問 制度変更後も減免制度は維持されるのか。

生活環境部長 条例で定めているので、現行の減免制度は変わらない。

生活環境部長 保険料が統一化・平準化されると、値上げの方向に向かうと考えられる。移行直後は行われぬように県と協議している。

問 保険料を引き下げ、高騰を抑えるには国庫負担を引き上げるしかないと考ええる。市からも国に要望し、積極的に発信していくべきだ。

生活環境部長 保険料に割高感があるのは事実だと承知している。県や関係団体などと連携して、要望していきたい。

問 制度変更後、保険料は軽減されるのか、それとも増えるのか。

生活環境部長 運営方針が発表されていないので示せないが、現行水準を保てるよう努めたい。

問 保険料の統一化・平準化をしないように、県に働きかけをお願いします。

よう努めたい。



庁舎建設・市長旅費・太陽光発電 設備設置後の地域住民とのトラブル

石田 卓成たくさき(自由民主党)

問 庁舎建設について、

市長はなぜ、外部委員会が出した自分に都合の良い意見ばかりを取り上げ、市民の声を無視するのか。

市長 議会決議や市民の意見を参考に、次の議会で具体的な提案をしたい。

問 市民への説明会で、現在地案も示してほしいという議会決議について、市長は「議会が何を考えているのか分からない」と発言したが、副市長はどのように感じたか。

副市長 素直な市長の発言と受け止めた。

問 市長旅費について、過去、臨機応変に支出してしまい、今回私費で対応することが決まった分は返納すべきだ。

総務部長 基準が決まる前であり、不適切な支出は無かったと考えている。

問 市長会会長用務の旅費は、市長会で負担してもらおうべきだと12月議会

で執行部に求めて、市長

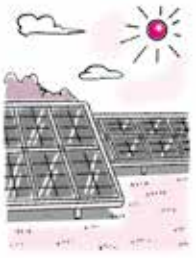
会が負担するようになつたが、会長用務で出張する場合、随行する秘書の旅費も市長会に負担してもらおうべきではないか。

総務部長 市が負担すべきと考えている。

問 農地を転用し太陽光発電設備が設置された後、地域住民と様々なトラブルが起こることがあり、設置前に地元自治会の同意を得るように条例で規制すべきだ。

土木都市建設部長 有効な方策を研究したい。

その他の質問項目
◆多面的機能支払交付金の白地農地への適用
◆道路や河川の改修要案件数と必要な予算額



三世代同居支援事業補助金、区画線(外側線)の 設置基準、クレジットカードによる納税について

和田 敏明とみあき(改革)

問 三世代同居を推奨されているが、助成対象工事費が300万円以上は高額で使いづらいので、100万円以上程度に引き下げて活用しやすくしてほしい。

市長 検討し、推進する。

問 前向きに取り組み検討と捉えて良いのか。

市長 議員の考えていることと同様の検討と考えるつもりで良い。

意見 「質問しました。はい、答弁をもらいました。」では、無責任。今後もしっかりと確認する。

問 外側線について、交通安全上、好ましくない引かれ方をした道路もあるが、引けるところは引いてほしい。

土木都市建設部長 適宜、外側線を設置してまいりたい。

問 大平山山頂公園駐車場の駐車スペースのラインが消えて、石灰で引かれていたが、観光や安心・安

全なまちづくりが徹底されていらないのではないか。

土木都市建設部長 計画的に区画線の補修を行い、安全と利便性の向上を図りたい。

要望 市民・観光客の目線で、いろいろな角度から考えて努力をしていたきたい。平成30年は、維新150年も控えており、小さいところからの目配りをしてこそ、安心・安全、「おもてなし」にもつながる。

問 国税でも「国税クレジットカード」お支払サイ「ト」にて納付受付を開始した。防府市でも税金の支払方法の選択肢を増やし、市民が少しでも気持ちよく納税できる環境づくりはできないか。

生活環境部長 今後、クレジットカード納付の必要性が高まることを考えられるので、実績のある他市を参考に調査研究を進める。

1、163万円かけたPR動画の効果は？ 防府市は町の活性化に消極的ではないか？

牛見 航たか(自由民主党清流会)

問 市内業者への利用を促す文書の送付先、回数増加の進捗状況は？

市長 8月15日号の市広報に掲載。また12月の協力依頼文書送付時は、従業員規模に関わらず配布先を増加していきたい。

問 空き店舗活用促進事業補助金は、夜間営業の飲食店を対象外。町の発展のためにも緩和すべきでは？町の活性化に対して消極的ではないか？

産業振興部長 今後の検討課題にしたい。

市長 空き店舗を積極的に活用する姿勢が全体の力を底上げする。発想を転換していくよう担当に促していく。

問 防府市の総合的な情報を発信するフェイスブック等のアカウント作成の進捗状況は？

総務部長 平成29年9月の開設を予定している。

問 動画投稿サイトYouTubeでの防府市のPR



R動画は、制作費用が1、163万円、再生回数は1万4、245回。1回当たりの再生に係る費用は816円。そもそもYouTubeは少ない費用で多くの方にPRできる媒体。ちなみに私が配信している動画番組「もうもつTV」は、制作費用が10万円、再生回数は7、500回、1回当たりの再生費用は僅か13円である。この現状をどう考えているか？

副市長 早急に体制が前に向くよう進めていく。

要望 防府市の長年の課題である発信力、これらの問題は市に広報の責任者がいない、勉強していない、課を横断する連絡網がないから。これらを解決するための広報課設立を再度強く求める！

入退居条件は曖昧！市有三世代住宅… 右田ケ岳巖トイシとポランティアの日^{制定}を

三原 昭治(絆)

問 市有三世代住宅計画で、富海地域を選定した理由は。

市長 富海小・中学校の一貫型教育の展開や藍染による地域おこしの取組を、移住や定住者の増加につなげるための定住環境の整備から選定した。

問 三世代同居支援事業補助金を交付した地域は。

土木都市建設部長 富海、大道、向島地域では申請はない。

問 富海地域にはガソリンスタンド、病院、大きなスーパーもなく、住環境の悪い現状が事業のネックとなるのでは。また、対策を考えているのか。

土木都市建設部長 国道2号線も整備され、周南市などに病院やスーパーもあり、車を使えば思ったほど不自由を感じられないのではと思う。

問 入居条件の富海小・中学校通学だが、兄は富海中学校、弟は私学のケ

ースの場合はどうなるか。

土木都市建設部長 富海小・中学校に通学者がいればいいと考えている。

問 入居対象の最終的な家族形成の定義は。

土木都市建設部長 9月議会までに決めたい。

問 中学生がいなくなった場合、6カ月以内に退居する条件となっているが、0歳から中学校卒業まで最短で15年、慣れ親しんだ地域、住み慣れた家を退居というのは、定住策に反するのでは。

土木都市建設部長 他の施策も含め、退居後も富海地域に住んでいただけるようなことを考える必要があると思う。

問 右田ケ岳の登山者用トイシ設置とポランティアの日^{制定}を。

産業振興部長 トイシは市全体のバランスを考慮したい。ポランティアの日^{制定}は、地元の登山者の方たちと協議したい。

自治基本条例の見直しを 教育のあり方・市庁舎建設について

田中 健次(市民クラブ)

問 法改正により基本構想策定の義務付けが無くなった。基本構想・基本計画策定の自治基本条例での義務付けが必要では。

総合政策部長 基本構想と基本計画の区分を設けず、総合計画の策定義務を規定する条例改正を検討しています。

問 自治基本条例に「倫理」の条文を追加し、市長の政治倫理、職員の公務員倫理に関する個別条例を策定すべきでは。

総合政策部長 自治基本条例推進協議会の意見を聴きたいと思えます。

問 松浦市長は、森友学園の教育理念に共鳴したと聞いている。市総合教育会議の場で、共鳴した事柄について、これまで議論したこと、今後議論する考えはあるか。

市長 これまでの協議で持ち出したことはなく、今後その考えはありません。

問 教育委員会は、森友学園で行われていた教育勅語の暗誦について、どう考えているか。

教育長 教育の場における教育勅語の活用を促す考えはなく、教育勅語の暗誦も想定していません。

問 市庁舎建設について、市長は平成29年4月に各地域を回られたが、出された意見をどう受け止められているか。

市長 駅北公有地エリアと現庁舎の2つの案を示し、説明責任を果たしていきます。

その他の質問項目
◆「法令遵守」、「公益通報」の個別条例制定を



セルビア共和国への訪問を終えて

議長 松村 学

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、防府市がセルビア共和国の男女バレーボールチーム(前回女子は銀メダル)のホストタウンの登録を受けたため、今後の取り決め方や交流事業の協議をすべく、セルビア共和国へ防府市訪問団の一員として4月17日から20日まで訪問しました。

ホストタウン登録の経緯は、誠英高校がバレーボール全国屈指の名門校でオリンピック選手も輩出しており、バレーボールが市民スポーツとして根付いていることから、防府市出身で首都ベオグラード市名誉市民、駐セルビア日本国特命大使であった長井氏に御尽力いただきました。

滞在中は、ソラールの開館20周年を機会にセルビア共和国のエジソンと謳われる「ニコラ・テスラ展」開催に向けた協議や、セルビア共和国バレーボール協会長と調印式や受入れ準備の協議、ダッチ外務大臣への表敬訪問では、未永い防府市との交流や交換留学、姉妹都市、産業交流などの対話を行いました。

市議会としても、選手たちの交流と市民に親しめるホストタウンとなるよう支援したいと思います。



セルビア共和国バレーボール協会を訪問した防府市訪問団の新聞記事

総合交通体系調査特別委員会の報告

(3月29日)

市民の日常生活を支える交通手段として重要な役割を担ってきた生活交通ですが、利用者の減少等、事業を取り巻く環境は非常に厳しく、国、県及び市において補助を行い、路線の維持を図っています。議会としては、これまでも生活交通をはじめとした課題について継続して調査を進めてきましたが、市民の生活交通改善のため新たな交通サービス(乗合タクシーなど)の導入も進められる中、さらなる調査が必要であると判断し、総合交通体系調査特別委員会を設置しています。新人議員も含めて、新しい委員で初めての委員会でしたので、生活交通として、「野島航路の現状と取組」、「防府市の公共交通をとりまく現状」、「地域公共交通網形成計画の策定」及び「切畑デマンドタクシー、高齢者等外出支援事業」の4項目にわたり、執行部から説明を受け、質疑等を行いました。

最後に、特別委員会の今後の方針について、「デマンドタクシーを切畑地区以外へ導入する可能性や、幹線道路、生活道路及び都市計画道路の今後の整備計画について執行部の説明を受けること、また、地域公共交通網形成計画の策定について、しっかりと注視していくこと」を委員で確認しました。



離島移動販売 運賃助成事業

議会報告ロケ

ご参加ありがとうございました

5月13日から19日まで、議会報告会を市内16地区で開催し、346名にご参加いただきました。

市民の皆さまから頂いたご意見等は、市執行部へ伝えるとともに議会として今後の審議にいかしてまいります。

内容の一部を要約して紹介いたします。詳しくは、議会ホームページの議会報告会のページをご覧ください。このほか、今後議会で取り上げていく項目については、次の議会だよりに掲載の予定です。

市執行部へ要望として伝えたい項目

- ・防災設備、避難に対する対応について、順次進められているが、しっかりとしたものにしてほしい。
- ・防犯灯助成事業で、通学路での補助は「住居等から100m以上」という条件で、厳しい。緩和してほしい。
- ・子育て応援サイトのような、少子化対策の予算を特に重点化してほしい。
- ・ルルサス防府2階の子育て支援センターの利用者に対して、ルルサス駐車場の無料券を発行してほしい。
- ・任意接種ワクチンの「ロタウイルスワクチン」は2万円以上の個人負担となる。公費助成をしてほしい。
- ・行政と農協の連携を強化され、農業者の所得向上を支援してほしい。

庁舎建設について

- ①両案の比較を希望、②まちづくり・活性化、③駐車場・アクセス、④防災機能、⑤区画整理、⑥跡地利用、⑦議会決議、⑧住民投票、⑨現在地を推す意見などがありました。

ご意見は、市執行部へ伝えるとともに、庁舎建設調査特別委員会をはじめとした

今後の議会活動にいかしてまいります。

総合交通について

- ①離島航路、②「地域公共交通網形成計画」、③バス事業、④高齢者等外出支援などに対するご意見がありました。

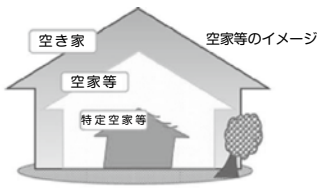
ご意見は、市執行部へ伝えるとともに、総合交通体系調査特別委員会で今後の課題などを協議してまいります。



空き家対策について

- ①空き家の定義、②代執行、③税制との関連、④条例の効果・内容、⑤空き家の利活用、⑥情報の公開・周知などに対するご意見がありました。

ご意見は、市執行部へ伝えるとともに、空き家対策について所管する教育民生委員会でご今後の対策などを協議してまいります。



議会モニターからの意見

モニターから寄せられた意見などの一部を紹介します。(内容は要約しています。詳しくは、議会ホームページの議会モニターのページをご覧ください。)

通 信 内 容	市 議 会 回 答
議会報告会の広報等について ①議会報告会の日程を市広報で知らせる際などに、事前に資料がホームページで閲覧できることを周知しては。 ②市議会ホームページ新着情報と議会報告会のページの相互リンクを。 ③市メールサービスは有益な情報発信がされるので、市議会としても周知のための活用を。	①次回の報告会から改善させていただきます。 ②改善いたしました。 ③市担当課と協議し、検討してまいります。 議会報告会の開催にあたっては、さらに市民の皆さまに広く周知できるよう取り組んでまいります。

視察報告

教育民生委員会

(4月19日～21日)

■災害廃棄物処理計画(愛知県豊田市)

地域が広いため、地域ごとの災害廃棄物発生量を推計し、処理計画を立てています。避難所への災害用便槽設置を推進し、仮設トイレの備蓄を推進していないのは興味深い点でした。この災害用便槽は、地下に1.7・5mの貯留槽を埋設したもので、平常時は蓋がかけられ、災害時には蓋を開けて便座を設置し、テナントを張ることトイレになるものです。

■教育立市宣言都市(大阪府河内長野市)

平成22年、全国3番目の「教育立市宣言」を掲げ、学んだ成果をまちづくりに生かす市民大学「くろまろ塾」の開催等、特色ある取組で教育によるまちづくりを進めています。平成27年度から全13小学校で1年生から英語授業を行い、学力向上に成果が現れています。教育への市長、教育長の本気度が感じられました。

■こどもが「核」のまち(兵庫県明石市)

待機児童解消策として、新卒保育士に採用時10万円、以降1年ごとに10万円(2年間)、潜在保育士に国の就職準備金貸付20万円(2年間勤務で返済免除)と別に採用時10万円の一時金を支給。また、月額8万2千円を限度に保育所の宿舍借上を補助しています。その他、第2子以降の保育料無料化や中学3年生までの医療費無料化等、人口減少に歯止めをかけるため、思い切った予算を投じています。

庁舎建設調査特別委員会

(7月18日～20日)

■榎原市(奈良県)

駅前の市有地に、庁舎とホテルなどの観光施設を建設しており、平成30年4月に供用開始予定です。事業手法はPFI方式を採用し、この複合施設を市が建設。所有し、事業者が賃借して独立採算で運営します。庁舎は分庁舎となり、主に窓口業務の部署が配置されます。市のホテル建設に大きな特色があります。

■新城市(愛知県)

本庁舎の建替工事が、平成29年度中の竣工を目指し現在進んでいます。建設位置は、複数の候補地がありましたが、市民体育館南側の現敷地に決定しました。建設には、実施設計の段階から施工候補者が設計に参画できるECI方式を採用しています。市民には説明会を数多く開催し、広報活動などを行ってきましたが、議論が分かれ住民投票を実施しています。

■瀬戸市(愛知県)

既存庁舎の一部を耐震補強して使用し、隣接する駐車場に平成27年に防災拠点機能を重視した新庁舎を建設しました。旧庁舎と新庁舎の通路部分を工入パンジョイントで接続し、免震構造と耐震構造に対応しています。1階にはシビックスクエア(中庭)を設置し、開放的な空間を演出しています。

所管事務調査

教育民生委員会

(5月2日開催)

■学校教育について

調査案件に先立ち、本市学校教育の取組について、多くの専門スタッフやサポータースタッフを配置し、教員とともに「チーム学校」として子ども達の学びを支援していること等の説明がありました。その後、キャリア教育推進事業について、サッカー等スポーツの現役選手やOB/OGが「夢先生」として授業を行い、夢を持つことや仲間と協力することの大切さ等を子ども達に伝える「夢の教室」の説明を受けました。続いて、ICT機器を活用した授業では、タブレットの機能を授業でどのように活用するかの説明の後、実際にタブレットを使ってアプリを活用した学習を体験しました。

■葬儀所業務について

(5月25日開催)

低所得者対策として新たに実施する規格葬儀について執行部の説明を受けました。利用要件となる「低所得者」「経済的理由」の考え方や申込手続等に関する委員の質問に対し、就学援助費受給者や生活困窮者自立支援法による被支援者や対象者として例示していない理由や検討経緯、申込の際に添付書類は求めないことなど執行部の答弁が行われました。その他、縁故者のない独居の生活保護受給者が亡くなった場合は規格葬儀を行うこと等も説明されましたが、委員からは必要な方が利用しやすい制度にしてほしいとの要望がありました。

産業建設委員会

(5月23日開催)

■農林水産業振興について

道の駅「潮彩市場防府」の活性化計画に基づいて、「活性化の方向性」として、全国有数のハモの漁獲量を誇ることから「ハモを中心とした魚のテーマパーク」をコンセプトとすること、マーケティング戦略として、①賑わい創出戦略や②収益向上戦略(ハモの骨切り機導入、施設整備計画(店舗レイアウトの再構築等)などについて説明後、委員から施設の改善と周辺整備の要望がありました。

■観光振興について

防府市における明治維新150年事業の推進について、国施策の方向性、県の取組、市のこれまでの取組について説明がありました。県では平成30年に中核イベントとして「山口ゆめ花博」を開催。市では「ほうふ観光維新」と位置づけ、明治維新150年推進協議会を立ち上げ、事業全体の進行を管理、様々な取組が模索されており、近隣市町とも連携してこの事業を進めること、また、取組を推進するために求められるものとして、地域ぐるみによる観光まちづくり、観光人材の育成・組織づくり、誘客強化を目指した「観光プロモーションの推進」が示されました。委員からはパンフレット等を観光宣伝にしっかり有効活用するよう要望が出されました。

議会日誌

5月

- 2日 教育民生委員会(所管事務調査)
- 10日 全員協議会
庁舎建設調査特別委員会
- 13日 議会報告会(野島)
- 15日 議会報告会(富海・松崎・向島・右田)
- 16日 議会報告会(勝間・佐波・玉祖)
- 17日 議会報告会(牟礼・中関・華城)
- 18日 議会報告会(華浦・新田・西浦)
- 19日 議会報告会(小野・大道)
- 23日 産業建設委員会(所管事務調査)
- 25日 教育民生委員会(所管事務調査)

7月

- 5日 6月定例議会閉会
議会運営委員会
広報編集委員会
- 7日 議会改革推進協議会
- 18日 庁舎建設調査特別委員会行政視察
(~20日)
- 25日 議会改革推進協議会
- 27日 広報編集委員会

6月

- 6日 勉強会
議会地方創生委員会
- 7日 議会運営委員会
- 12日 6月定例議会開会
広報編集委員会
- 15日 本会議(一般質問)
- 16日 本会議(一般質問)
- 19日 本会議(一般質問)
- 20日 本会議(一般質問)
議会運営委員会
- 22日 予算委員会(全体会)
議会改革推進協議会
- 23日 常任委員会・予算分科会(総務)
- 26日 常任委員会・予算分科会(教育民生)
- 27日 常任委員会・予算分科会(産業建設)
- 30日 予算委員会(全体会)
議会改革推進協議会

9月定例議会の予定

- 8月 31日 本会議(開会)
- 9月 4日 上下水道事業決算特別委員会
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 本会議(一般質問)
- 11日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)
- 14日 予算委員会(全体会)
- 15日 常任委員会・予算委員会分科会
(総務・教育民生・産業建設)
- 20日 一般・特別会計決算特別委員会(総務)
- 21日 一般・特別会計決算特別委員会
(教育民生)
- 22日 一般・特別会計決算特別委員会
(産業建設)
- 26日 予算委員会(全体会・採決)
- 29日 本会議(閉会)

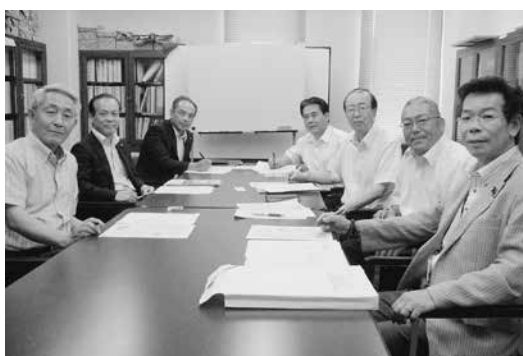
会議の開会時刻は、午前10時です。
なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

編集後記(表紙の説明)

市議会では、毎年度、市内各地で議会報告会を開催していますが、表紙はその時の様子を写したものです。

この議会だよりは、議員自ら制作していますが、議会の出来事を市民の皆さまにお知らせし、より「開かれた議会」、より「親しみのある議会」を目指しています。左の写真は、今年の編集委員会のメンバーです。よろしくお願います。



議会広報編集委員会

◎田中健次
○石田卓成

河杉憲二
清水力志

今津誠一

山田耕治

上田和夫

(◎)委員長、(○)副委員長